

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

2020年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項による。

## 2 招集について

- ①第3ゲート（1500mスタート地点後方）に招集所を設置する。競技者は招集開始時刻に集合し、できる限り三密状態を避けること。
- ②招集開始及び完了時刻は下記のとおりであるが、詳細は競技日程に記載する。
- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。

※第2競技場からスタジアムまでの距離が遠いので、競技者は時間に余裕を持って行動すること。

種目	招集開始	招集完了
トラック種目	20分前	15分前
走高跳・走幅跳・三段跳	40分前	30分前
砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投	40分前	30分前
棒高跳	1時間15分前	1時間前

- ④招集完了5分前までに競技場所（スタート地点・ピット）で待機し、最終点呼を受けること。その際アスリートビブス（ナンバーカード）、競技用靴等の点検を受けること。
- ⑤リレーに出場する競技者で、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、競技者係及び当該審判主任に申し出て了解を得ること。

## 3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ①アスリートビブス（ナンバーカード）は胸と背に1枚ずつ確実につけること。  
女子選手のセパレートタイプのユニフォームについては、ナンバーが審判から見えるように4ヶ所で確実に留めること。  
ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- ②トラック種目では、腰ナンバーを右腰後方につけること。  
800mまでのトラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーを招集所にて配布するので、競技者各自が持ち出し、競技終了後は各自の責任において持ち帰り、処分すること。  
1500m以上のトラック競技に出場する競技者に対しては、腰ナンバーはスタート直前に競技役員が配布する。競技終了後は各自の責任において持ち帰り、処分すること。
- ③ランニングシャツの裾を確実にランニングパンツの中に入れ、腰ナンバーが見えるようにすること。

## 4 競技場で使用する競技用靴について

スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。  
当競技会において靴底の厚さは40mm以内までを認めるが、厚底シューズ使用により日本陸連主催等競技会の参加資格として認められない場合や、その他競技者が不利益を被る場合も想定されるため、競技者または指導者は厚底シューズの使用について十分留意すること。  
なお、厚底シューズを使用した場合は、リザルトに「厚底シューズ着用」の注釈を付記する。

## 5 棄権について

出場種目を棄権する場合、本競技会においては特に申し出なくとも良い。

## 6 練習について

①練習会場は第2陸上競技場を使用し、下表の割り当てに従って安全に利用すること。

1～2レーン	中距離・長距離・競歩の周回練習 ジョグは不可
3～6レーン（ホーム）	短距離（直線流し、SD、加速走等）
3～6レーン（ホーム以外）	リレー（リレー使用時以外はホームと同様）
7レーン（ホーム）	100mハードル
7レーン（第1曲走路～バック）	400mハードル（女子）
8レーン（ホーム）	100mハードル／110mハードル
8レーン（バック）	安全確保のため使用しない。
9レーン（ホーム）	110mハードル
9レーン（第1曲走路～バック）	400mハードル（男子）
9レーン外側（ホーム以外）	ジョギング
フィールド内芝生	投擲実施時以外は使用可 メディシンボール使用は限定区画内のみ
跳躍ピット	Aピット使用可（係員の指示による）

②第2競技場の雨天走路はジョギングと体操のみ使用を許可する。一方通行で利用すること。

③練習に際しては競技役員の手指示に従って安全に練習すること。

④第2競技場の開放時間・場所については、栃木陸協 Web サイト等でも別途提示する。

⑤投てき練習については、競技場所での競技前の練習試技のみとする。

⑥スタジアム1階および2階の外周での練習は不可とする。

総合運動公園内園路はジョギング程度なら可とする。（ただし集団での走行、リレーのバトンパスをしながらのジョギング等は禁止とする。）

選手・関係者及び公園の一般利用者の安全確保のため、ジョギング以外の練習は禁止する。

（メディシンボール投げやハードルを用いた練習等も禁止。）

⑦第2競技場の利用時間は17時30分頃までとする。これ以降の練習は、スタジアム内にて行う。ただし、当日の長距離レース（ナイター）に出場する選手のみ利用とする。

⑧スタジアム内の雨天練習場は本競技会においては使用不可とする。

## 7 競技者の入退場について

スタジアム内競技場所への出入口は、第3ゲート（1500mスタート地点付近）のみとする。

スタジアム内競技場所への出入りは競技者のみ許可する。付添人・指導者等の入場は不可。

競技者は第3ゲートの係員にアスリートビブス（ナンバーカード）またはJAAF登録会員証を提示し、入場の許可を得ること。

トラック競技に出場する競技者は、競技開始前にスタート地点付近に荷物を置き、競技終了後は競技の妨げとならないよう、荷物を取りに行くこと。荷物をとった後も競技の妨げとならないよう、第3ゲートから退場すること。

フィールド競技者も他の競技の妨げとならないよう、係員の指示に従って入退場すること。

## 8 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順、リレーについて

- ①トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示すので、審判員の指示に従うこと。
- ②リレー競走に出場するチームはリレーオーダー用紙を作成し、第1組目の招集時刻の1時間前までにT I Cに提出する。リレーオーダー用紙はT I Cで配布する。
- ③リレー競技に出場するチームは、原則として同一ユニフォームで参加しなければならない。

## 9 跳躍競技（高さ・踏切板の距離）について

（※審判長の判断で、変更することもある。）

種 目		練習の高さ	競技中の高さ
走高跳	男子	1.70/1.85	1.75～1.80～1.85～1.90～1.95～2.00・・・
	女子	1.35/1.55	1.40～1.45～1.50～1.55～1.60～1.65・・・
棒高跳	男子	2.70/4.00	2.80～3.00～3.20～3.40～3.60～3.70～3.80・・・
	女子	1.70/2.50	1.80～2.00～2.10～2.20～2.30～2.40・・・

- ①上記以後の高さについては、跳躍審判長の指示による。
- ②雨天の際は協議の上、高さを変更することもある。
- ③三段跳における踏切板の距離については、男子11m・女子9mとする。

## 10 競技用器具について

競技に使用する用器具は、検査を受け合格したものについてのみ使用できる。ポールの検査は、招集後現地にて行う。やりの検査については、別途指定する。

検査で合格したやりについては、主催者にて預かり、主催者のものとして使用する。

棒高跳・投擲競技における滑り止め（炭酸マグネシウム）は、本競技会では準備しない。

滑り止めを使う場合は、競技者が各自持参すること。なお、他の競技者と共有しないこと。

## 11 競技について

- ①トラック競技は全てタイムレースで実施し、複数ラウンドを設けない。  
フィールド競技（走高跳・棒高跳以外）は3回の試技までの実施とする。
- ②トラック競技は、不正スタート1回で失格とする。
- ③長距離種目において競技運営上、著しく遅れた選手や体調不良で競技続行が不可能と判断される競技者に対し、審判長が競技を中止させる場合がある。
- ④1500m以上の種目で1回のレースに多数の競技者がいる場合、グループスタートを行う。
- ⑤5000m以上の種目の給水については、主催者側が給水所と飲料水（紙コップ）を用意する。
- ⑥競技場設備の準備の関係で、投擲種目は第2陸上競技場での実施となる可能性がある。  
第2競技場で投擲種目実施中は、その他の競技者等のフィールド内立ち入りを禁止する。
- ⑦各競技の結果はWeb上の速報サイトに掲載する。記録掲示板等は設置しない。

## 12 その他

- ① T I C (Technical Information Center) をスタジアム 2 F の A ゲート内に設置する。  
T I C では、参加団体受付、オーダー用紙の取扱い、競技に関する抗議の受付、プログラム訂正の受付、賞状配布、撮影許可手続き、遺失物保管などの業務を行う。) )
- ② 競技中の傷病などについては、主催者が応急手当をするが、以後の責任は負わない。
- ③ 各チームのスタジアム内待機場所については、栃木陸上競技協会が指定した場所とする。  
第 2 競技場の 2 F コンコースは各団体が譲り合って使用すること。コンコース内にテントを設営することは認めない。また、競技場外の公園敷地でのテント設営は一切禁止する。  
なお、各チームベンチとして観客席・雨天練習場・更衣室等を占領してはならない。
- ④ スタジアム内雨天走路の使用については、本競技会では使用不可とする。
- ⑤ スタジアム内 1 F のトイレは、100m スタート付近の正面スタンド内トイレを使用すること。  
出入りについては 100m スタート付近からの出入りに限定する。
- ⑥ 更衣室については、男女ともスタジアム 2 F トイレ内の更衣スペース等を使用する。  
また第 2 競技場の更衣室も使用可とする。ただし更衣室内に長時間滞在しないこと。
- ⑦ 第 2 競技場の会議室を整理運動後の休憩場所として開放する。会議室を休憩場所として使用する際は、備え付けの名簿に必要事項を記入すること。ただし長時間滞在しないこと。

## 13 災害時の避難場所

会場責任者の判断により避難の放送が入るので、避難誘導係の指示に従って落ち着いて行動すること。

## 14 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事項

- ① 新型コロナウイルス感染拡大状況により、参加申込み完了後に競技会を中止とする場合もある。日本政府または各都道府県による緊急事態宣言が発令した場合などは、県外在住の参加者に対して参加を断る場合もある。その際は栃木陸協 Web サイト等で通知する。  
また、競技中に発雷等で天候が悪化した場合は、その時点で競技会を中止する場合もある。
- ② 競技会直前に発熱等の症状が出た者は、参加を控えること。
- ③ 競技会に参加する全ての来場者（競技者、指導者、引率者、マネージャーなど）に対し、別紙「大会前体調管理チェックシート」の提出を義務づける。（日本陸連ガイダンスに則った措置とする。）
- ④ 競技会開催中に体調の異変を感じた場合は、速やかに代表者や顧問教諭に連絡し、主催者の指示を受けること。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染防止対応として、無観客での競技会開催とする。競技者の家族、友人・知人などの観客席への立ち入りを禁止する。
- ⑥ 練習会場、待機場所、更衣室等において極力三密を回避し、手指等の消毒を随時行う。  
全ての参加者は運動時以外は極力マスク等を着用する。
- ⑦ 中高生が学校所属ではなくクラブ所属として参加する場合、クラブ責任者が競技者を引率し、保護者の観客席への立ち入りは禁止する。
- ⑧ 運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。ゴミは自己責任で持ち帰る。
- ⑨ 発声を伴う応援（集団応援も含む）は禁止する。
- ⑩ その他、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対応については、栃木陸協 Web サイト等で周知する。